

平成27年度

# ステップアップ

\* 学習の手引き \*



1 年 組 番	氏名
---------	----

この学習の手引きは、授業の受け方・家庭学習の勉強の仕方・テストに向けての勉強の仕方や各教科の学習内容や評価の方法について、皆さんにお知らせするものです。

学習の手引きを利用して、学習計画をたてると、見通しをもって学習に取り組むことができます。

大いにこの学習の手引きを活用して、自分自身をステップアップできるように、役立ててください。



# 授業の受け方

## 1 はじめに

- (1) 教科書・ノート・ワーク等を机の上に準備しておきましょう。
- (2) 教科係は授業が始まる前に諸準備を整え、連絡等を伝えましょう。
- (3) 号令の前にノートを開き、前時にどんなことを学習したのか確認しましょう。

## 2 学習のポイントをしっかりとつかもう

- (1) 先生の説明や仲間が発表しているときは、話をしている人のほうを見て聞きましょう。
- (2) 黒板に書かれたことで大切なことは、ノートに書きましょう。また、口頭による説明などもノートに書いておくと復習の時に役立ちます。
- (3) 分からないことは積極的に質問しましょう。「後で調べればいいや」「後で誰かに聞こう」と何でも「後で」にしてしまうと、理解していないまま授業を受けることになり、よけいに分かりづらくなります。

## 3 おわりに

- (1) 今日の学習を振り返り、重要点と課題の確認をしましょう。
- (2) 号令の後、次の授業の準備をしてから休憩しましょう。

## 4 チェックポイント

- (1) 授業に必要なもの（教科書・ノート・資料・筆記用具等）の準備はできていますか。
- (2) 宿題は家できちんと行っていますか。
- (3) 授業中に、おしゃべりなどしていませんか。  
理解不十分なところを質問していますか。
- (4) ノート整理がなされていますか。

## 授 業 は

- ・ まちがうところ
  - ・ 気づくところ
  - ・ わかるところ

# 学カステップアップ (～授業編～)

## 授業＋家庭学習＝学力向上

### 国語

- 漢字・語句ノートをしっかり行い、わからない漢字や語句をなくしてから授業に臨みましょう。
- 授業に必要な学習用具を忘れずに準備しましょう。
- 「話すとき」「書くとき」「聞くとき」「考えるとき」の区別をしっかりつけ、授業に集中して取り組みましょう。
- 友達の記事を聞いて、自分の考えを深めるようにしましょう。
- ノートは、板書を写すのではなく、自分でポイントを絞ってわかりやすく創りましょう。
- わからないところは、質問してわかるようにしましょう。

### 社会

- グラフ・図・地図など、一通り必ず目を通して、特徴や変化に注目しましょう。
- 疑問に思ったことは、すぐに質問しましょう。
- 友達の記事をよく聞き、自分と違う点から、いろいろな考え方・見方をつかみましょう。
- 聞く、書く、考える等の学習の区別をして取り組みましょう。  
(書きながら聞くことは難しいです。)

### 理科

- 自然について、疑問や不思議だと思ったり、感動する心を持ち続けましょう。
- 自分で考え、間違いをおそれずに発表しましょう。発表することは自分の頭を鍛えてくれます。
- 積極的に実験や観察に取り組みましょう。その後、実験・観察をレポートにまとめることで、わかったこと・更なる疑問をはっきりさせることができます。
- 基本操作や重要な語句は、必ずノートにまとめましょう。  
また、単元の区切りには章末問題などに取り組み、知識を確かなものにしましょう。

### 数学

- 授業を大切にしましょう。
- 「チャイム1分前着席」を守り、5分の計算プリントに取り組みましょう。
- 学習用具を忘れずに準備しましょう。  
(教科書・ノート・問題集・ファイル・三角定規・コンパスなど)
- 先生の説明や友達の記事は注意深く聞きましょう。
- 自分の考えは積極的に発表しましょう。また、疑問に思ったことやわからないことは質問しましょう。
- ノートをわかりやすく丁寧にまとめましょう。
- 配られたプリントやテストは、すぐにファイルにとじたり、ノートに貼りましょう。
- 提出物は期限を守って提出しましょう。

### 英語

- 英語に関心をもち、積極的にコミュニケーション活動に取り組みましょう。
- 英語を用いて、自分の考えや気持ちなど、伝えたいことを話したり書いたりして表現しましょう。
- 英語を聞いたり読んだりして、相手が伝えようとすることを理解しましょう。

## 音楽

- 学習用具を忘れずに準備しましょう。  
(教科書・合唱ノート・学習ファイル・ソプラノリコーダー)
- いろいろな音楽に触れ、想い、創り、奏で、興味を持って取り組み、心を豊かにしましょう。
- 表現活動(歌唱・器楽)、鑑賞活動、創作活動を通して自分を表現しましょう。
- 友達と心を一つにして曲を作りあげましょう。



## 美術

- 描画用の鉛筆やスケッチブック等、連絡した持ち物を必ず持ってきてきましょう。必要なものがないと活動ができなくなってしまいます。
- いろいろなことに興味を持って取り組みましょう。友達と違ったアイデアが出せことは素晴らしいことです。自信を持って表現しましょう。
- 自分らしい作品を作りましょう。自分の「好き」を大事にしましょう。
- 友達の表現(作品)のよいところを見つけられるように心がけましょう。
- 作品はていねいに作り、自分の作品も友達の作品も大事にしましょう。

## 保健体育

- 今日の健康状況を確認してから授業に臨みましょう。
- 服装・頭髪など、身なりをしっかりと整えましょう。
- 用具や活動場所の安全を確認し、活動しましょう。
- 自分の学習課題をしっかりと持って授業に臨みましょう。
- 目標達成に向け、みんなで協力して取り組みましょう。
- 時間前に活動場所へ移動しましょう。
- ランニングや準備運動をしっかりと行いましょう。

## 技術・家庭

- 「各自の目標を達成するにはどうしたらよいか」という意識をもって学習に取り組みましょう。
- 授業では作品づくりや実習などの作業を通して、学習活動で生じた課題の解決に迫ります。学習した内容をどんどん使うことが自分の技術力を身につけることにつながります。
- 学習用具を忘れずに準備しましょう。  
(教科書・技術科ファイル・家庭科ノート)
- 技術科：技術室の時はジャージで行います。
- 家庭科：調理実習時には、エプロン・三角巾・マスク・手拭きタオル・雑巾・調理に必要な材料を準備しましょう。

# 学カステップアップ (〜家庭学習編〜)

## 授業＋家庭学習＝学力向上

### 家庭学習の基本 ふ・か・ま・り

- ふ** 復習を中心に少しずつでも毎日！  
～その日の授業のノートを開いて再確認～
- か** 書いて、声に出して、繰り返し練習！  
～五感を最大限に使って、脳に刺激を～
- ま** 丸暗記ではなく、納得が大事！  
～「なるほど！そうか！」が記憶につながる～
- り** 理解するまでじっくりと！  
～考えてわからなければ、質問しよう～

### 国語

- 教科書をしっかり読めるか確認する。
- わからない語句がないか確認する。
- 漢字の書き取りを繰り返し練習する。
- ノートの整理をする。
- ワークの問題を解き直す。
- 古典はできるだけ暗記する。
- ※さらに力を高めるには、様々な文章に触れましょう。これは、自らの意識が必要です。さあ！ がんばろう！！

### 社会

- その日の授業の内容を思い出しながらノートやワークシートを振り返る。
- 太文字や赤字の大切なごくは、覚えるまで繰り返し書く。
- 頭の中でどんな状況なのかをイメージしながら教科書を読む。
- 地名が出てきたら必ず地図で場所をチェックする。
- 自分なりに学習した内容をまとめる。
- キーワード（重要語句）を自分の言葉で説明できるようにする。（キーワード同士のつながりがつかめます）
- ※社会科はイメージすることが大切です。文章から、地図からイメージしよう！

### 効果的な学習 5ヶ条

- 1 集中して学習！毎日継続！（15分×学年）
- 2 習慣化 ～時間と場所を決めて～
- 3 計画的に
- 4 自分で学習
- 5 復習はその日のうちに！！  
予習は短時間で効果的に！！

### 数学

- STEP 1** 数学が苦手の人・何をしてよいのか分からない人  
○教科書、ワーク、問題集の計算問題を解く。
- STEP 2** 計算はだいたいできる人  
○「ちょっと難しいな」と思う程度の問題にじっくり取り組む。
- STEP 3** 得意な人、さらにレベルアップしたい人  
○問題の数をこなすと同時に、難問にもチャレンジする。

### 理科

- 教科書の基本的な内容を覚える。  
用語とその意味：セットで覚える。  
実験の方法：使う道具・薬品・注意事項  
図表やグラフ：位置や名称、数値からわかる規則性
- 問題は難解も繰り返し、3回以上取り組む。
- 教科書の文章を理解できるまで読む。  
※教科書を読んで内容が分からない時は、まだ理解していない証拠。そこをチェックして先生に質問しよう！

### 英語

- ノートに英文を書き、単語の意味を調べ、授業の予習をする。
- 基本文や新出単語を繰り返し書いて覚える。
- 教科書を毎日声を出して読む。  
※身の回りには英語があふれています。関心をもとう！英語は楽しい！使える！という意欲をもとう！

# 学カステップアップ (〜テスト編〜)

## テスト勉強の基本

- (1) 範囲発表〜 テスト範囲を確認し、教科書に範囲を書き込む。ここで具体的な勉強計画をたてる。
- (2) 2週間前〜 教科書の太文字やノートの赤字などを繰り返し書く。
- (3) 1週間前〜 範囲内の教科書を読み直し、ワークに取り組んで、まるつけをする。
- (4) 3日前〜 ワークにもう一度取り組み、できなかったところは覚えるまで書いて練習する。
- (5) 前日〜 最終確認。教科書やワーク等を見直し、不安なところを中心に、学習し直す。
- (6) 当日〜 朝の時間や10分休みに友達と問題を出し合って最終チェック！テスト中は集中して絶対にあきらめない！

STEP 1 教科書こそが原点と心得よ！

STEP 2 ワークを繰り返すと実力アップ！

STEP 3 計画的な学習・規則正しい生活が本物の力を生む！

### 国語

- 教科書を表現に沿ってしっかり読む。
- 語句が文脈の中でどう使われているか考え、意味を調べる。
- ノートをもう一度読み、書いてあることを見直す。
- ワークの問題は覚えるくらいまで復習する。
- 漢字は書いて覚える。
- ※古典や文法など、暗記ができるものは、覚えよう。
- ※復習あるのみ！ がんばってみよう！

### 社会

- ワークに取り組む自分でまるつけをする。
- ワークで間違えたところを繰り返し、覚えるまで書いて練習する。
- グラフ・図・地図などに気をつけながら、教科書を読み直す。
- 教科書の太字やワークシートの重要な語句を写し、何度も書いて覚える。
- ※特に社会は努力が点数につながりやすいぞ！ 逆に手を抜いたら・・・

### 数学

- できるだけ多くの問題を解き、その都度まるつけをして、間違えたところを確認する。
- よく間違えるところ、理解していないところを重点的に取り組む。
- 教科書、問題集の問題は必ず一通りやる。
- わからないところは先生に質問に行く。
- ☆すてきな情報が得られるかも！
- ※「あっ、前にやったのと同じ問題だ！」と思えるまでひたすら解きまくろう！

### 理科

- 問題（自主学習や補充問題など）を何度も解いて、学習内容を徹底的に定着させる。
- 計算や記述問題は、できるようになるまで、繰り返しやる。
- いくら考えてもわからないものは解答・解説を見ても構わないが、それで終わらせない。自分で解けるようになるまで徹底的にやる。
- ※毎日の家庭学習の積み重ねこそが、最良のテスト勉強です。

### 英語

- 授業後にわからなかったことをそのままにしない。（単語の発音、意味など）
- 教科書・重要表現の音読と書き取りを繰り返し行う。
- ノート、ワーク、プリントを何度も繰り返して練習する。
- ※テストの直後が肝心！ 答えが返されたら必ずやり直して理解できるようにし、次の準備をしよう！

# 1年 国語科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

## 1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	国語への関心を深め、国語を尊重し進んで表現・理解するとともに伝え合おうとする。	○授業に取り組む態度（発表や質問など） ○課題の提出状況とその内容 ○既習内容を発表させようとする意欲
2	自分の考えを目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	○定期テスト、単元テスト ○授業での発言や質問への応答
3	自分の考えを豊かにしたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて文章に書く。	○定期テスト、単元テスト ○作文、感想文、レポート、新聞
4	目的に応じ、様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	○定期テスト、単元テスト ○授業での発言内容 ○ノートの記述内容
5	言葉の働きや意味を理解し知識を身につけている。書写では文字を正しく整えて速く書く。	○定期テスト、単元テスト ○音読、暗唱 ○漢字、語句の適切な活用 ○手書き文字（硬筆・毛筆）

## 2 1学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
文学的文章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を明らかにし、他の人の考えを取り入れて意見することができる。</li> <li>・登場人物の考えや気持ちを自分の定見や考えと比べながら想像し、意見を述べられる。</li> <li>・行動・心情・情景描写から登場人物の気持ちの変化をつかんで書ける。</li> <li>・優れた情景描写や表現を抜き出してまとめたり、表現方法の特徴をつかんで書いたりできる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4 観点5
説明的文章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで考えたり疑問に思ったりしたことを述べ合うことができる。</li> <li>・筆者の考えについて自分の立場を明らかにして意見を書くことができる。</li> <li>・段落やまとまりごとに大事なところをまとめたり小見出しをつけたりできる。</li> <li>・語句の意味を文脈の中でとらえることができる。接続語、指示語、文末表現等から段落の役割や接続関係を説明できる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4 観点5
古 典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動を現代と比較しながら話したり聞いたりできる。</li> <li>・故事成語が生活の中のどのような場面に用いられるか文章で書ける。</li> <li>・物語のあらすじをとらえ、生活・文化、ものの見方や考え方を現代と比較し、まとめられる。</li> <li>・古文の仮名づかい、言葉づかい、古語の意味を理解した上で、すらすら読むことができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4 観点5
韻 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな詩を選び、事実と意見を意識して考えを分かりやすく話したり聞き取ったりできる。</li> <li>・自分の好きな言葉や表現を抜き出し、感じたことを書ける。</li> <li>・作者の思いが感じ取れる表現を指摘し、その思いが伝わるように朗読できる。</li> <li>・読み方を工夫し、その工夫によってどのような効果をもたらせるのかを説明できる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4 観点5
表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・的確な話題を選び、事実と意見を意識して考えを分かりやすく話したり聞き取ったりできる。</li> <li>・身近な題材を選び、伝えたいことや考えを明らかにしてわかりやすく書くことができる。</li> <li>・様々な種類の文章から必要な情報を選べる。互いの文章を読み合い、自分の表現の参考にできる。</li> <li>・書き言葉・話し言葉に注意し、速度や音量、間の取り方に気をつけて話せる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4 観点5
言語・漢字 文法・書写	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話し言葉」と「書き言葉」の違いや役割について理解し、場面に応じて使い分けられる。</li> <li>・調べたり読み取ったりしたことを分かりやすくレポートにできる。</li> <li>・説明文や辞書、インターネット等から必要な情報を探してまとめることができる。</li> <li>・言葉の働きについて理解し活用できる。小学校で学習した漢字を文章の中で使える。また、6年の新出漢字までは確実に書ける。文字を正しく整えて速く書ける。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4 観点5

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

# 1年 社会科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

## 1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、よりよい社会を考え自覚を持って責任を果たそうとする。	○授業に取り組む態度（発表や質問） ○課題（問題集、ノートなど）の提出状況 ○小テストへの取り組み
2	社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	○定期テスト、単元テスト ○ノートの記述内容や授業での発表内容
3	社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	○定期テスト、単元テスト ○ノートの記述内容や授業での発表内容
4	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。	○定期テスト、単元テスト ○授業での発表内容

## 2 1学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
歴史のとらえ方	・日本の歴史の大きな流れや時代の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	観点2
	・日本の歴史の大きな流れや書く時代の特色に関する様々な資料を収集し、適切に選択してその過程や結果をまとめている。	観点3
	・時代の大きな移り変わりに気づくとともに、年代の表し方や時代区分について理解している。	観点4
古代までの日本	・人類の出現、古代文明、日本列島の人々の生活について多面的・多角的に考察できる。	観点2
	・古代における国家の形成、政治の展開、東アジアとの関わりについて文献や年表から説明できる。	観点3
	・日本列島の人々の生活、古代国家形成について東アジアの歴史を背景に理解し、説明できる。	観点4
中世の日本	・武家政権の成立、発展、諸産業の発展、民衆の成長について多面的、多角的に考察できる。	観点2
	・中世の政治の展開、経済の発展、文化の広がりについて図版、史料、年表などを用いてまとめ、説明できる。	観点3
	・武家政権の成立、発展、諸産業の発展、民衆の成長について東アジアの歴史を背景に理解し、説明できる。	観点4
世界のすがた	・世界の地域構成について、大陸と海洋の分布、地域区分を基に考察し、その過程や結果をレポートや略地図などで適切に表現している。	観点2
	・世界の地域構成の基本的な枠組みをとらえるために、地球儀や世界地図の長短を踏まえて読み取り、有用な情報を適切に選択している。	観点3
	・世界の地域構成について、大陸と海洋の形状や分布、またおもな国々の名称と位置の知識を身に付けるとともに、緯度や経度について理解し、その知識を身に付けている。	観点4
世界各地の人々の生活と環境	・世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的条件、社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に自分たちの生活と比較しながら考察し、その過程と結果を適切に表現している。	観点2
	・世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する写真や統計資料、文献などの様々な資料から、自然環境の違いや社会的条件の違いに関する有用な情報を適切に選択し、読み取ったりまとめたりしている。	観点3
	・世界の人々の生活や環境が多様で、その暮らしが変化していくのは、自然条件や社会的条件によることを理解している。	観点4
世界の諸地域	・設定した課題を、地域の環境条件や他地域との結び付き、人間の営みとの関わりから、多面的・多角的に考察している。	観点2
	・世界の諸地域の地域的特色をとらえるため、地図、新聞、写真、紀行文や国家単位の統計など、様々な資料を収集している。	観点3
	・世界の諸地域の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などについて概観し、その結果として基礎的・基本的な知識を身に付けている。	観点4
日本のすがた	・日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。	観点2
	・地球儀や世界地図を活用して、簡単な時差の計算ができる。	観点3
	・世界的な視野から日本の領域の特色と変化を理解し、その知識を略地図に描くことができる。	観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

# 1年 数学科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

## 1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	数学的な事柄に関心をもち、その楽しさやよさを知り、進んで問題解決に活用しようとする。	○授業に取り組む態度(学習したことを使った発表や質問など) ○課題(問題集、ノート、ファイルなど)の提出状況
2	問題解決のために、数学的な見方や考え方を使い、筋道を立てて考える。	○定期テスト、単元テスト ○ノートの記述内容や授業での発表内容
3	正しく計算したり、票や式やグラフに表したり、図形の性質を調べたりする。	○定期テスト、単元テスト、計算プリント ○ノートの記述内容や授業での発表内容
4	用語・記号や公式・定理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	○定期テスト、単元テスト ○授業での発表内容

## 2 1学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
正の数・負の数	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則混合の計算を統合して捉え順序を判断できる。</li> <li>正の数・負の数の四則混合の計算が正しくできる。</li> <li>逆数や指数の意味や計算法則を説明できる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
文字の式	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字式で表されている数量の関係を考察できる。</li> <li>一次式の加法・減法・乗法・除法の計算ができる。</li> <li>文字式の約束を理解し、用語の意味を説明できる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>線分図や表を用いて数量の関係を表し、数式に置き換えることができる。</li> <li>題意に即した方程式を立式でき、解くことができる。</li> <li>方程式の解き方や方程式を使って問題を解決する手順がわかる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
比例・反比例	<ul style="list-style-type: none"> <li>表・式・グラフから、比例と反比例の特徴を見つけ考察できる。</li> <li>比例と反比例のグラフを書いたり、式を求めたりすることができる。</li> <li>比例と反比例のグラフの特徴や用語の意味がわかる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
平面図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形を折ったり、<math>180^\circ</math>回したりするなどの操作を通して、重なる図形に着目し、図形の対称性を見つけることができる。</li> <li>定規とコンパスを使って、垂直二等分線、角の二等分線、垂線の作図ができる。</li> <li>線分、距離、垂直、平行などの用語の意味を理解できる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間での平面や直線の位置関係を、平面上の2直線の位置関係や立方体の面や辺の位置関係をもとにして調べ、見いだすことができる。</li> <li>立体の表面積や体積を公式を用いて求めることができる。</li> <li>角柱、円柱、角錐、円錐などの用語や、見取り図、展開図について理解できる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の傾向や特徴を読み取り、物事を判断したり、説明したりすることができる。</li> <li>範囲、平均値、中央値、最頻値を求めることができる。</li> <li>階級、度数、度数分布表、ヒストグラム、度数分布多角形、相対度数、階級値の意味を理解できる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

# 1年 理科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

## 1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	自然の事柄に関心を持ち、それらを生活に結びつけて考え、調べようとする。	○授業に取り組む態度（発表や質問など） ○課題の提出状況 (科学工夫作品・ノート・ワーク・レポートなど)
2	自然の事柄の中に問題を見つけ、観察・実験などから総合的に考え、表現する。	○定期テスト ○ノートの記述内容（観察・実験の結果についての考察中心） ○授業での発表内容（観察・実験の結果についての発表）
3	正しい操作方法で観察・実験を行い、記録する。	○定期テスト ○ノートの記述内容（スケッチやグラフ・作図などで表す） ○観察・実験時の行動観察（器具の操作方法や取り組み中心）
4	自然の事柄について、基本的な特徴や原理・法則などを理解し、知識を身につけている。	○定期テスト ○授業での発表内容

## 2 1学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
植物の生活と種類	・観察や実験から、植物と環境の関わりや体のつくりの多様性や共通性に気づき、つくりと働きを関連づけて考えることができる。	観点2
	・ルーペや双眼実体顕微鏡、顕微鏡などの観察器具を適切に扱い、体のつくりや働きを調べることができる。また、スケッチの仕方を身につけることができる。	観点3
	・植物の体のつくりと働きについて理解することができる。	観点4
	・植物の生活と種類について認識を深めるとともに、種子をつくる植物ではいくつかの観点で分類できることを理解できる。	
物質のすがた	・溶解度や再結晶、状態変化について、温度体積・質量などと関連づけて考えることができる。物質には固有の性質と共通する性質があることや気体の種類による特性を見いだすことができる。	観点2
	・実験器具（加熱器具も含む）や試薬を適切に使い、安全に留意して実験ができ、結果の記録の仕方を身につけることができる。	観点3
	・溶解度や再結晶、状態変化について、粒子のモデルと関連づけて理解することができる。	観点4
	・物質をいくつかの特徴で分類できることや特性に応じた気体捕集法について理解できる。	
光や音、力で見える世界	・光や音、力について、日常生活や社会と関連づけて見たり、考えたりすることができる。	観点2
	・光の反射や屈折、凸レンズの働きや音の性質、力や圧力について安全に留意して実験することができる。実験結果をレポートにまとめることができる。	観点3
	・光の反射や屈折、凸レンズによる像のでき方の規則性を説明できる。	観点4
	・音の大小・高低、伝わる速さについて条件の違いを理解できる。	
	・力の大きさや向きを矢印で表すことや単位を理解できる。	
・水圧や大気圧の働く向きや大きさについて理解できる。		
大地の変化	・火山や地震、地層について、地球内部の働き・規則性や過去の様子を考えることができる。	観点2
	・火山噴出物や火成岩に見られる共通点や相違点を観察し、指摘することができる。	観点3
	・地層の重なりや広がりや規則性について、観察することができる。	
	・火山噴出物と噴火様式、マグマの性質や火成岩の特徴について理解し、説明できる。	観点4
	・地震と火山活動の関連を指摘でき、プレートの動きから説明できる。	
	・大地は長い時間と広い空間の中で変化してきたことを理解できる。	

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

# 1年 英語科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

## 1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	英語に関心をもち、コミュニケーションを図ろうとする。	○授業に取り組む態度 (発表や質問など) ○ペアワーク・グループワークでの取り組み ○課題の提出状況
2	英語を用いて、自分の考えや気持ちなど、伝えたいことを話したり書いたりして表現する。	○定期テスト、小テスト ○授業での発表内容
3	英語を聞いたり読んだりして、相手が伝えようとすることを理解する。	○定期テスト、小テスト ○授業での発表内容
4	英語に関する幅広い知識を身につけている。	○定期テスト、小テスト ○授業での発表内容

## 2 1学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
be 動詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ be 動詞を用いて英語で表現できる。</li> <li>・ be 動詞を含んだ情報を正しく理解できる。</li> <li>・ be 動詞の用法を正しく理解している。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
一般動詞の現在形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般動詞を含む文を用いて、的確に表現できる。</li> <li>・ 一般動詞の現在形を含んだ情報について正しく理解できる。</li> <li>・ 一般動詞の用法を正しく理解している。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
疑問詞 What/How/Where/Who/When Which/Whose/Why	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Wh… (How) ～?の疑問文を用いて、的確に表現できる。</li> <li>・ 様々な疑問詞を含んだ情報を正しく理解できる。</li> <li>・ 疑問詞の用法を正しく理解している。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
代名詞 複数形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な代名詞や複数形を用いて、的確に表現できる。</li> <li>・ 代名詞や複数形を含んだ情報を正しく理解できる。</li> <li>・ 代名詞や複数形の用法を正しく理解している。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
助動詞 (can)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ can を含む文を用いて、的確に表現できる。</li> <li>・ can を含んだ情報について正しく理解できる。</li> <li>・ can の用法を正しく理解している。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
現在進行形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在進行形を含む文を用いて、的確に表現できる。</li> <li>・ 現在進行形を含んだ情報について正しく理解できる。</li> <li>・ 現在進行形の用法を正しく理解している。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
一般動詞の 過去形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般動詞の過去形を含む文を用いて、的確に表現できる。</li> <li>・ 一般動詞の過去形を含んだ情報について正しく理解できる。</li> <li>・ 一般動詞の過去形の用法を正しく理解している。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

# 1年 音楽科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

## 1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	音楽に親しみ、音や音楽に対する関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	○授業に取り組む態度(発表や主体的な練習など) ○課題(プリント、ノート、作品など)の提出状況
2	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	○定期テスト、実技テスト、作品 ○学習プリントの内容 ○練習過程
3	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	○定期テスト、実技テスト、作品 ○練習過程
4	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴いている。	○定期テスト ○課題(学習プリント)や発表の内容

## 2 1学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
A 表現・歌唱 斉唱・重唱・合唱 校歌・愛唱歌 日本の名曲 合唱曲・外国曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌おうとしている。</li> <li>曲趣に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌おうとしている。</li> <li>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら歌おうとしている。</li> <li>音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解している。</li> </ul>	観点1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じししながら、音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</li> <li>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。</li> </ul>	観点2 観点3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じししながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。</li> <li>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。</li> </ul>	観点2 観点3
A 表現・器楽 リコーダー・ギター 打楽器・和楽器 アンサンブル活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏しようとしている。</li> <li>楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身につけて演奏している。</li> <li>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら演奏しようとしている。</li> <li>音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解している。</li> </ul>	観点1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じししながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。</li> <li>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。</li> </ul>	観点2 観点3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じししながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。</li> <li>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。</li> </ul>	観点2 観点3
A 表現・創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくらうとしている。</li> <li>表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくらうとしている。</li> <li>音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解している。</li> </ul>	観点1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じししながら、音楽表現を工夫し、どのように創作するかについて思いをもっている。</li> <li>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくらうとしている。</li> </ul>	観点2 観点4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じししながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。</li> <li>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。</li> </ul>	観点2 観点4
B 鑑賞 春・魔王・映画音楽 日本の伝統音楽 アジアの音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わり、音楽の特徴や背景、音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わっている。</li> </ul>	観点1 観点4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴をその背景となる文化や歴史や他の芸術と関連つけて鑑賞している。</li> <li>日本や郷土の伝統音楽やアジアの音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り鑑賞している。</li> </ul>	観点4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしている。</li> </ul>	観点4

# 1年 美術科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

## 1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	進んで美術に親しみ、想像の喜びを味わおうとする。	○制作に取り組む姿勢、日常の学習活動 ○提出物(ワークシート等) ○使用する道具の有無(忘れ物はないか)
2	感じたことや考えたことから想像力を働かせて発想し、表現の構想をする。	○制作した作品及び下書き、アイディアスケッチ ○日常の学習活動
3	基礎的技能を身につけ、その技能を高めたり新しい表現方法を試みたりする。	○制作した作品及び下書き、アイディアスケッチ ○日常の学習活動
4	自然、美術作品、身近な造形などのもつよさや美しさを、感じ取ったり味わったりする。	○鑑賞カード等のワークシート ○発言、発表

## 2 1学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
鉛筆デッサン	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象を観察し、対象の持つ自然な美しさをかたち、質感を捉えることができる。</li> <li>鉛筆デッサンの基本的な描き方を知り、適切な鉛筆の濃さや描き方で制作に取り組むことができる。</li> <li>自他の作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わうことができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
色との出会い	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の三要素(色相・明度・彩度)や色固有の特性を知り、組み合わせたときの効果を考えながら構成することができる。</li> <li>色をこだわりを持って丁寧に塗ることで、自らの発想を表現することができる。</li> <li>自他の作品を鑑賞し、作品の工夫点や思いを感じ取ることができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
着物のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>色の特性を生かした構成の方法や感情効果を知り、自分なりの着物のデザインを構想することができる。</li> <li>着物のデザインシートのマスにあわせて、美しく用紙を切り貼りすることができる。</li> <li>自らの作品と向き合い、作品のねらいをまとめることができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
文字のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>明朝体やゴシック体などのデザイン化された書体の特徴や書き方の手順を知り、美しい文字の構想を考えることができる。</li> <li>バランスのよい美しい文字を書体の特徴を捉えて書くことができる。</li> <li>自他の作品を鑑賞し、作品の工夫点や思いを感じ取ることができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
基礎表現 (クロッキー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象の入れ方(構図)を考え、描画に取り組むことができる。</li> <li>対象の形やバランスを捉え、的確に描画することができる。</li> </ul>	観点2 観点3
木彫の家紋	<ul style="list-style-type: none"> <li>家紋の特徴をつかみ、自ら工夫を基に図案のアイディアスケッチをすることができる。</li> <li>彫刻刀の使い方を知り、薬研彫りを基本とした様々な掘り方を駆使して家紋の図案を彫り進めることができる。</li> <li>自他の作品を鑑賞し、図案や彫り方の工夫とそのよさを味わうことができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4

(観点1は日常の学習活動・提出物により評価します。)

# 1年 保健体育科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

## 1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	進んで運動し、その楽しさや喜びを味わい、意欲的に学習に取り組もうとする。	○出欠席・見学の状況・服装 (確認) ○意欲・積極性・準備・後片付け (観察・自己評価カード)
2	自分の能力に適した運動の課題解決を目指して、よりよく判断し、活動の仕方を考え工夫している。	○課題の把握 (確認・自己評価カード) ○練習方法や場の工夫・他人へのアドバイス (観察・自己評価カード)
3	運動の特性に応じた技能や、体力を高めるためにふさわしい運動の行い方を身につけている。	○技能の向上・定着 (観察・自己評価カード)
4	運動の意義や特性と健康安全について理解し、知識を身につけている。	○ルールを理解 (観察・小テスト・レポート) ○安全の確保 (観察・自己評価カード) ○学び方の理解 (観察)

## 2 1学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のため、工夫して練習することができる。</li> <li>基本的動作を正確に行うことができる。</li> <li>運動の方法を理解することができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習方法や競技の仕方を工夫している。</li> <li>技能を向上させ、記録を高めることができる。</li> <li>安全に行動することについて理解することができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
水泳	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のため、工夫して練習することができる。</li> <li>各種の泳法で、より長く泳ぐことができる。</li> <li>安全に行動することについて理解することができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のため、工夫して練習することができる。</li> <li>基本的な技能を高めることができる。</li> <li>安全に行動することについて理解することができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
球技	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のため、工夫して練習することができる。</li> <li>基本的な技能を身につけ、練習やゲームに生かすことができる。</li> <li>安全に行動することについて理解することができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
武道	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のため、工夫して練習することができる。</li> <li>基本的な動作や技能を身につけることができる。</li> <li>伝統的な行動の仕方を理解することができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決のため、工夫して練習することができる。</li> <li>基本的な技能やステップを身につけることができる。</li> <li>特有のステップを理解することができる。</li> </ul>	観点2 観点3 観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

# 1年 技術・家庭科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

## 1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	○授業に取り組む態度 (発表や実習への取り組み) ○課題 (ノート・ファイル・レポート・作品) の提出状況
2	生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	○定期テスト, 実技テスト, 小テスト ○製作した作品 ○授業での発表内容 ○ノート・プリントの記述内容
3	生活に必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	○実習での作業内容 ○製作した作品
4	生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。	○定期テスト, 実技テスト, 小テスト, プリント ○授業での発表内容 ○製作した作品

## 2 1学年の学習内容と観点別の目標

### <技術分野>

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
ガイダンス	・技術と生活とのかかわり、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを知り、3年間の見通しを持つことができる。	観点1
B エネルギー変換に関する技術	・能率的な作業手順を考え、作業に取り組むことができる。 ・回路計を用いて電気回路の導通検査を行い電気機器の保守点検を行うことができる。 ・家庭にある配電遮断機 (ブレーカー) や漏電遮断機の働きを理解し、その必要性を説明できる。 ・エネルギーの利用と環境に与える影響を考え、家庭でのエネルギーの使い方について、自分で評価できる。	観点2 観点3 観点4
C 生物育成に関する技術	・植物の品質や収穫量の向上を目的とした育成計画を立てることができる。 ・植物の生育する環境に適した条件 (光・大気・温度・水・土 他) を踏まえて、植物を育成できる。 ・植物を育成する技術が社会や環境に果たしている役割について適切に評価し、活用することができる。	観点2 観点3 観点4
D 情報に関する技術(1)(2)	・プレゼンテーション用ソフトの活用を通して、デジタル作品の設計・製作ができる。	観点3

### <家庭分野>

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
ガイダンス	・3年間の学習に見通しをもち、自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて関心をもつことができる。	観点1
B 食生活と自立	・食品の栄養的特質を知り、中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を工夫し、計画することができる。 ・食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択することができる。 ・安全や衛生に留意し、基本的な日常食の調理ができる。 ・生活の中で食事が果たす役割や、健康と食事とのかかわりについて説明できる。 ・栄養素の種類や働きを知り、中学生に時期の栄養の特徴について説明できる。	観点2 観点3 観点4
C 衣生活・住生活と自立	・安全な室内環境の整え方を知り、工夫できる。 ・快適な室内環境の整え方を知り、工夫できる。 ・自分の生活を振り返り、住まいのはたらきを考える。	観点2 観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

# 学習の振り返り

## ～前期中間を終えて～

テストを終え、各観点について「学習の手引き」を見ながら自己評価をしてみよう！

教科名	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
国語					
社会					
数学					
理科					
英語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭科					

自己評価：A とてもよくがんばった！ B だいたいできた C まだまだ努力が必要！

## 前期期末に向けて

<引き続き頑張りたいこと・見直して改善したいこと>

# 学習の振り返り

## ～前期期末を終えて～

テストを終え、各観点について「学習の手引き」を見ながら自己評価をしてみよう！

教科名	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
国語					
社会					
数学					
理科					
英語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭科					

自己評価：A とてもよくがんばった！ B だいたいできた C まだまだ努力が必要！

## 後期中間に向けて

<引き続き頑張りたいこと・見直して改善したいこと>

# 学習の振り返り

## ～後期中間を終えて～

テストを終え、各観点について「学習の手引き」を見ながら自己評価をしてみよう！

教科名	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
国語					
社会					
数学					
理科					
英語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭科					

自己評価：A とてもよくがんばった！ B だいたいできた C まだまだ努力が必要！

## 後期期末に向けて

<引き続き頑張りたいこと・見直して改善したいこと>

# 学習の振り返り

## ～後期期末を終えて～

テストを終え、各観点について「学習の手引き」を見ながら自己評価をしてみよう！

教科名	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
国語					
社会					
数学					
理科					
英語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭科					

自己評価：A とてもよくがんばった！ B だいたいできた C まだまだ努力が必要！

## 1年間を振り返って

<引き続き頑張りたいこと・見直して改善したいこと>